

桑名市総合医療センターニュース

第0034号 平成27年1月発行



謹賀新年

桑名市総合医療センター 理事長 竹田 寛

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。今年の元日は、うっすら雪化粧でした。元日に雪が降ると良い年になると云われます。患者さんやご家族の方々にとっても、病院の職員の皆さんにとっても、素晴らしい年になりますことを心よりお祈り申し上げます。

年頭にあたり率先してやらなければならないことは、新病院の建設を推進することだと、改めて意を強くしております。昨年末に行われました3回目の入札にて、建設に参入の意向を示す会社が現れました。ようやく交渉相手が見つかったことになり、この機会を逃がしてはなりません。これから様々な協議を重ね、あらゆる方向から検討して、なるべく早く工事が始まるように努めて参ります。その実現のために全力を尽くします。一日も早く新病院建設の槌音を響かせることが、病院職員はもとより患者さんや市民の皆様方にとっても、この上ないお年玉になるものと確信しております。

もう一つは、病院職員の皆さんには今暫く現在の老朽化した施設で仕事を続けていただかなければなりません。不満足な環境下で働かなければならないことほど、辛く惨めなことはありません。昨年まで少しずつ進めて参りました東、西、南、三センターの各診療科や診療部門の統合や再配分は続けていきますが、同時に現場で働く皆さん方の生の声を拝聴して、少しでも待遇や環境の改善に結びつけていくことができると願っています。

先の見えない今が一番辛い時だと思います。しかし新病院の建設が始まりましたら、職員の誰もが再び希望にあふれるようになるかと信じております。とにかく前へ進まねばなりません。私達も精一杯頑張りますので、よろしくご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。



70歳未満の方 平成27年1月から高額療養費制度が変わります

高額療養費とは、病院の窓口での支払いが1ヶ月間（1日～末日まで）で一定額（以下自己負担限度額）を超えた場合、その超えた金額が申請により支給される制度です。

今回、自己負担限度額を決める所得区分が変わります。

<医療費の負担>

患者負担（3割）		保険者負担（7割）
自己負担限度額	高額療養費	

*患者負担分が自己負担限度額に満たない場合は、高額療養費は発生しません。

<自己負担限度額表>



所得区分が細分化されました。

旧				平成27年1月診療分より			
区分	所得区分 <年収>	自己負担 限度額	多数該当	区分	所得区分 <年収>	自己負担 限度額	多数該当 (4回目以降)
A	約770万円 以上	15万円 + (総医療費- 50万円) × 1%	83,400円	ア	約1,160万円~ の方	252,600円 + (総医療費-842,000円) × 1%	140,100円
				イ	約770万円~ 約1,160万円の方	167,400円 + (総医療費-558,000円) × 1%	93,000円
B	区分A・C 以外	80,100円 + (総医療費- 267,000円) ×1%	44,400円	ウ	約370万円~ 約770万円の方	80,100円 + (総医療費-267,000円) × 1%	44,400円
				エ	~約370万円 の方	57,600円	
C	市区町村民税 の非課税者	35,400円	24,600円	オ	市区町村民税 の非課税者	35,400円	24,600円



地方独立行政法人桑名市総合医療センター

桑名東医療センター ・ 桑名西医療センター ・ 桑名南医療センター

桑名市総合医療センター研修管理委員長 久留宮 隆

当院では初期臨床研修の2年目の選択科目として、平成23年より国際医療研修を行っています。このプログラムの目標はこれからの時代を担う若い臨床医の先生たちが今後自らの臨床能力を形成していく上で、幅広い俯瞰的な視野をもって医療に望む事が重要であるという観点から作られたものです。過去にはアメリカ(ロサンゼルス)、グアテマラ、タイ、ドイツなどを訪問していますが、今年は9月後半に2班に別れて、ドイツとメキシコを訪問して来ましたのでご報告致します。

《一般目標》

世界の医療事情を理解し、各国間での医療格差、医療を取り巻く環境の違いを認識する事で、医療そのものに対する認識を深め、医療環境や状況に応じた対応の必要性を理解し、国際医療へのキャリアパスとするのみならず、国内での医療活動における医師としての基本的な考え方、ポリシーを確立する。

本研修の目標は上記のごとくで、これらの要件を満たすためにさまざまな到達目標と方略を設定しています。(詳細は研修プログラムをご参照下さい)

研修期間は1ヶ月で、前半の2週間は国内研修であり、以前にご報告させて頂きました「ペシャワール会」の福元事務局長のお話をはじめ、様々な国際経験豊かな人材を講師として招き、その講演やWS(ワークショップ)から国際医療の基本を学びます。またそれと同時に、各自にそれぞれテーマが与えられ、与えられたテーマを英文で presentation できるように準備し、それを最終的に海外からの国際研修生(AHI)や三重県内で活動している一般外国人の方々(三重国際交流財団、三重大学)に対して発表し、それぞれの医療に対する考え方を英語で討論しました。今年は各人2回ずつ英語での presentation を経験しました。



こうした国内研修を経た上で、後半の2週間は様々な国の医療を実際に見聞し、これらの医療状況と現在の日本の状況を比較する事で、今現在の我々日本の医療の置かれている位置を確認するというもので、学生とは違う臨床医としての目で実際に見聞したこれらの経験をもとに、最終日にはそれぞれのグループからの報告、振り返りなどの省察を行い、今後の自らの医療において役立てていくものです。

今年の研修では桑名東医療センター、いなべ総合病院、市立四日市病院より各1名、鈴鹿中央病院より2名の計5名の初期臨床研修医が参加しました。後半の海外研修においてはドイツとメキシコに分かれて研修を行いました。今年初めてとなったメキシコでの研修についてお話をしたいと思います。

メキシコは様々な保険制度が混在する国であり、これらを理解するために、2週間のうちのほとんど毎日をそれぞれ異なった施設を訪問して、その施設長や担当医師に院内を案内してもらい、日本との違いを実感しました。そのため、平日はほとんどが5時や6時起きで、寝不足の毎日でした。研修医達にとっては慣れない英語での会話に加え、寝不足でさぞ大変だっただろうとは思いますが、それでも一生に一度の貴重な機会を経験できたのではないかと考えています。



もちろん、折角メキシコまで行ったのですから、休みの日にはピラミッドに出かけたりして有意義な時を過ごしました。



このプログラムは三重県全体の共通プログラムである「MMCプログラム」にも登録されており、他病院からの参加も多く、MMCの会合などでは他病院の初期研修医の方々から数多くの質問があり、非常に注目されているプログラムです。また来年度はカナダ、インドなどへの訪問の可能性も視野に置いて、より充実した選択が可能ないように計画をしています。今後はさらに多くの研修生が参加される事が期待され、ますます充実を図っていきたいと思っています。



～肺炎球菌ワクチンの接種について～

ご存知ですか??

平成26年10月から高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンが一部公費負担で受けられるようになりました。

対象者は毎年異なるため、接種の機会を逃さないようにご注意ください。

※接種は任意です。

平成27年3月31日までの接種が対象です。

重要! 平成26年度の対象者

平成26年度(平成26年10月1日から平成27年3月31日まで)は①もしくは②の方が定期接種の対象です。

対象者①(生年月日)

65歳となる方	昭和24年4月2日生～昭和25年4月1日生
70歳となる方	昭和19年4月2日生～昭和20年4月1日生
75歳となる方	昭和14年4月2日生～昭和15年4月1日生
80歳となる方	昭和9年4月2日生～昭和10年4月1日生
85歳となる方	昭和4年4月2日生～昭和5年4月1日生
90歳となる方	大正13年4月2日生～大正14年4月1日生
95歳となる方	大正8年4月2日生～大正9年4月1日生
100歳となる方	大正3年4月2日生～大正4年4月1日生
101歳以上の方	大正3年4月1日以前の生まれ

対象者②

60歳から65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害やヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある方

ワクチン接種は各市町村の指定医療機関で受けられます。(詳しくは各市町村へおたずねください) 桑名東・西・南医療センターでも接種できます。必ず、事前に電話で予約をお願いします。

*肺炎球菌ワクチン接種で肺炎予防!

もちろんワクチンによりすべての肺炎を予防できるわけではありません。

肺炎は日本の死亡原因の第3位となっていますが、一般に細菌によって生じる肺炎のうち4分の1から3分の1は“肺炎球菌”が原因と考えられています。

◆肺炎球菌とは・・・

肺炎球菌は、主に気道の分泌物に含まれ、唾液などを通じて飛沫感染する細菌です。鼻や喉の奥につきやすい菌ですが、元気で免疫力が高い状態であれば症状はありません。しかし、体調を崩すなどさまざまな原因で免疫力が落ちると感染症を引き起こし、気管支炎、肺炎、敗血症などの重い合併症を起こすことがあります。

◆65歳以上の方は・・・

加齢とともに免疫力は低下していきます。そのため元気そうに見えても感染症を起こしやすくなっていきます。ワクチンの接種により免疫をつけておくことで、肺炎球菌の感染による肺炎などの発症や重症化を予防することができます。

肺炎球菌は90種類以上の血清型がありますが、そのうち23種類の血清型を予防の対象としたワクチン(「ニューモバックスNP(23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン)」)を使用します。これまでに同じワクチンを接種したことがある方は対象になりません。

また、接種後に接種部の症状(痛み、赤み、腫れ)、筋肉痛、だるさ、発熱、頭痛などの副反応が起こることがあります。

出典:厚生労働省ホームページ: http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/haienkyukin/index_1.html



医師の異動について

＜桑名東医療センター＞

○着任 救急科 坂倉 康文（さくら やすみ） 医師（1月1日付）

＜桑名西医療センター＞

○退任 外科 北嶋 貴仁 医師（1月4日付）

東医療センター人間ドック室より

＜お問合せ：0594-22-2831＞

平成27年1月より健診部門の充実のため、人間ドックなどの健診業務を東医療センターへ集約しました。それに伴い、人間ドック室の体制を2診体制に拡大しました。医師は問診、診察し、当日判る範囲内で結果説明を行います。1診は必ず女性医師が診察しますので、女性の方もお気軽に健診をお受けください。人間ドックをご希望の方はぜひご相談ください。

院内研究発表会を開催しました

平成26年11月29日（土）くわなメディアライブ多目的ホールにて、桑名市総合医療センター院内研究発表会を開催しました。発表会は3病院が統合した平成24年度から3病院合同で毎年行っており、今回は3回目の開催となりました。

発表は総合演題と一般演題に分かれ、総合演題は『新病院統合に向けて』というテーマで教育研修部門の取り組み、部署の統合に向けた現状、新病院で新たに行う治療について、医師、薬剤師、放射線技師が発表を行いました。

一般演題は、各部署やチームが自由なテーマで発表しました。発表者は看護師、理学療法士、検査技師、放射線技師など多職種にわたり、それぞれの病院での取り組みや課題などを知ることができるとても良い機会となりました。

各病院の活動にとどまらず、良いところを吸収し合いながら法人全体でより良い新病院となるように努めていこうという思いが一段と大きくなった発表会となりました。



クリスマス会を開催しました



＜東医療センター＞

12月25日に総合受付前にてゴスペルコンサートを開催しました。



患者様はみなさん笑顔になり、すてきなクリスマス会になりました。

＜西医療センター＞

12月24日に外来待合にて開催しました。今年はマジックショーとウクレレ演奏、

フラダンス、託児所の子どもたちがお遊戯を披露しました。



桑名市総合医療センター

〈基本理念〉 最良の医療を提供し、地域の皆さまから信頼され必要とされる病院を目指します。

- 〈基本方針〉
- ① 患者さまを中心に考え、真心・思いやり（忠恕）の医療を提供します。
 - ② 医療の水準と質の向上に努め、安全性を確保します。
 - ③ 地域の皆さまに安心していただける中核病院としての責任を永続的にはたします。
 - ④ 患者さまおよび職員にとって魅力ある病院をつくります。

〈桑名西医療センター〉

各種教室のご案内

外来棟3階図書室へお越しください。

当院に受診されていない方も、興味のある方はどなたでもご参加ください。
予約制の教室は、定員に達し次第、締め切らせていただきます。

糖尿病教室

日 時：1月22日（木）13：00～14：30（15分前までにお越しください）
テーマ：正月太りを運動で解消しましょう！
参加費：800円（デザート代込み） ※昼食は付きません。
*予約制です。ご希望の方は0594-22-7111（代表）へお電話ください。

肝臓病教室

※偶数月の第一火曜日に開催しています。
日 時：2月3日（火）12：30～14：00（10分前までにお越しください）
テーマ：自分の内臓脂肪ってどれくらい？！知ってみませんか
参加費：1000円（昼食代込み） ※体成分測定を行います。
*予約制です。ご希望の方は0594-22-7111（代表）へお電話ください。

減塩教室

☆3回シリーズで減塩の基本から応用まで説明します。
3回シリーズですが、各会のみ参加でも減塩について学べる内容にしています。
日 時：2月10日（火）12：30～14：00（10分前までにお越しください）
テーマ：減塩の基本①
参加費：800円（昼食代込み）
*予約制です。ご希望の方は0594-22-7111（代表）へお電話ください。

◆シャトルバスをご利用ください◆

*桑名駅と3病院の間を循環しています。

*始発は桑名駅 8:00 発、最終は桑名駅 16:00 発（桑名西医療センター終着）
*午前最終は桑名駅 11:30 発、南医療センター11:33 発、東医療センター11:38 発、西医療センター11:50 発（桑名駅終着）です。午後の始発は桑名西医療センター12：50 発です。



地方独立行政法人 **桑名市総合医療センター**



桑名東医療センター（旧山本総合病院）

住所 三重県桑名市寿町三丁目11番地
電話 0594-22-1211（代表）
FAX 0594-22-9498（代表）
〈地域医療室〉 電話 0594-22-2110
FAX 0594-22-2166



桑名西医療センター（旧桑名市民病院）

住所 三重県桑名市北別所416番地1
電話 0594-22-7111（代表）
FAX 0594-24-1506（代表）
〈地域医療連携室〉 電話 0594-22-7208
FAX 0594-24-1581



桑名南医療センター（旧桑名市民病院分院）

住所 三重県桑名市中央町一丁目32番地1
電話 0594-22-0650（代表）
FAX 0594-22-5608（代表）
〈地域連携室〉 電話 0594-82-6889
FAX 0594-22-5771



【法人事務局】住所 三重県桑名市寿町三丁目11番地
電話 0594-22-1211（桑名東医療センター代表）

